

令和5年11月27日

## 令和5年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）について

文部科学省では、学校教育の振興に関し特に功績顕著な教育者の功労をたたえ、「教育者表彰（文部科学大臣表彰）」を行っています。このたび、令和5年度の本県の被表彰者が決定し、表彰式が実施されますので、お知らせします。

### 記

#### 1 対 象

現に国立学校、公立学校又は私立学校（大学及び高等専門学校を除く。）の校長、園長又は教員であって、学校教育に関し顕著な功績のあった者に対して行う。

#### 2 被表彰者

令和5年度 3名

会津若松市立城北小学校長

すずき もとゆき  
鈴木 基之 (60歳)

福島市立福島第四中学校長

ふくち ひろゆき  
福地 裕之 (60歳)

福島県立安積高等学校長

すずき よしと  
鈴木 芳人 (60歳)

(注) 年齢は表彰日（令和5年11月30日）現在

#### 3 表 彰 式

日時：令和5年11月30日（木）

会場：文部科学省 3階講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

#### 4 功績概要

別紙のとおり

(別紙)

## 令和5年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）受賞者功績概要

番	氏名	功績概要
1	鈴木 基之	<p>教諭時代は公立養護学校及び福島大学教育学部附属養護学校等に勤務し、特別支援教育の授業研究に熱心に取り組んだ。積極的に授業を公開するとともに、地域における特別支援教育の中心的な役割を果たし、本県及び文科省優秀教職員表彰を受賞した。</p> <p>教育行政においては、指導主事として、研修会等において豊富な実践経験を踏まえた適切な指導助言を行った。また、福島県特別支援教育センター所長を務め、特別支援教育に係る研修と支援体制の整備に尽力した。さらに、社会教育課長として、本県の教育施策を企画するとともに、それを円滑に推進して教育振興の充実に努めた。</p> <p>現在は校長として、基幹校としての役割を自覚し、明確な目標を示して全職員の力を結集させるとともに、地域との協働・連携を重視した特色ある教育活動を推進している。</p>
2	福地 裕之	<p>教諭時代は国語科の指導力が高く評価され、オーストラリアの在外教育施設や福島大学附属中学校に派遣され、校内のみならず地区内外の国語科教育の向上に寄与した。</p> <p>教育行政においては、指導主事として県内の児童生徒の学力向上を目指し、施策の考案や推進を精力的に行った。また、義務教育課長として、本県教育行政の要としてリーダーシップを発揮し、各種教育施策の推進に大きく貢献した。さらに、教員の指導力、学校のチーム力の最大化に向けて、各教育事務所、関係機関との連携を図りながら効果的な取組を促した。</p> <p>現在は校長として、教育行政に長年携わってきた経験を生かし、県教委の「スペシャルサポートルーム事業」の推進校として、不登校生徒、不登校傾向にある生徒の心の居場所づくりに力を注いでいる。</p>
3	鈴木 芳人	<p>教諭時代は都立高校や県立の定時制等、様々な高校で多様な生徒を指導し、数々の実績を残した。平成23年3月の東日本大震災と原発事故の際には、白河高等学校教頭として、自校の教育活動再開を始め、相双地区高校と連携した転学者受け入れ等に尽力した。</p> <p>教育行政においては、高校教育課長、教育次長として教育行政の中核を担い、教員の多忙化解消や県立高校改革推進等の施策に手腕を振るった。新型コロナウイルス感染症の流行に際しても、積極的な情報発信と校長協会での情報交換を促進することで、校長間の風通しを良くし、横の連携を図った。</p> <p>校長経験と教育行政経験により、高等学校だけでなく小・中学校の学校経営、市町村教育委員会にも多大な貢献を果たし、本県教育界における功績は極めて大きい。</p>